

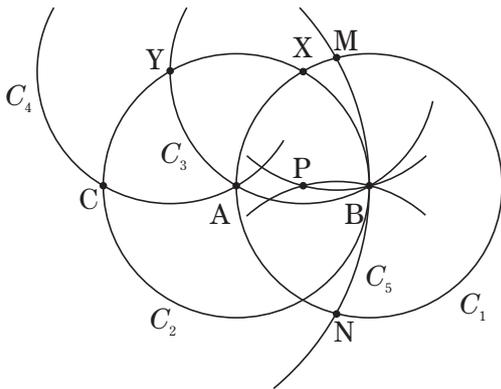
# 強者の戦略

数学科の松下です。みなさん、今回の問題はどうかだったでしょうか。算数で昔を思い出していただけましたでしょうか。では解説します。

**【1】** コンパスだけを使って、与えられた2定点 A, B の中点を作図せよ。

<解答>

- ① B を中心に半径 BA の円  $C_1$  を描く。
- ② A を中心に半径 AB の円  $C_2$  を描く。
- ③ 2円  $C_1, C_2$  の交点の1つを X とし、X を中心に半径 XA の円  $C_3$  を描く。
- ④ 2円  $C_2, C_3$  の交点のうち B でない方を Y とし、Y を中心に半径 YA の円  $C_4$  を描く。
- ⑤ 2円  $C_2, C_4$  の交点のうち X でない方を C とする。  
(A は BC の中点になっている。)
- ⑥ 中心 C, 半径 CB の円  $C_5$  を描く。
- ⑦  $C_1$  と  $C_5$  の2交点を M, N とする。  
M, N を中心として半径  $MB = NB$  の円を描き、これらの2交点のうち、B でない交点 P が求める点である。



このようにして作図した点 P が AB の中点である理由(下図参照)。

$\triangle CBM$  は、 $CB = CM$  の二等辺三角形より  
 $\angle CBM = \angle CMB$

である。

$\triangle MPB$  は、 $MP = MB$  の二等辺三角形より

$$\angle MPB = \angle MBP$$

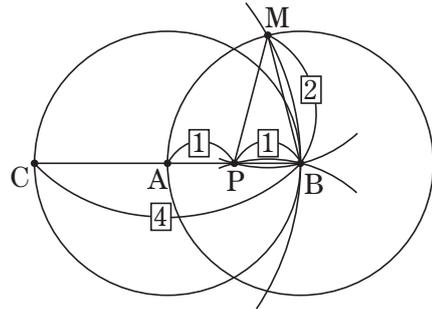
である。

よって、 $\triangle CBM$  と  $\triangle MPB$  は相似であり、相似比は 2:1 である。

ゆえに

$$PB : AB = PB : MB = 1 : 2$$

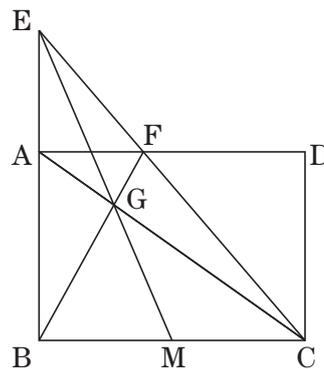
となり、P は AB の中点となる。



**【2】** 定規だけを使って、与えられた長方形の1つの辺の中点を作図せよ。

<解答>

[解1] (作図法) 下図の  $\square ABCD$  において、辺 BA の A 側の延長上に点 E を適当にとる。線分 EC と辺 AD の交点を F とし、線分 FB, AC の交点を G とする。直線 EG と辺 BC の交点を M とすると、点 M は辺 BC の中点である。



(証明)

$\triangle EBC$  において、FB, AC, EM は1点で交わるので、チェバの定理より

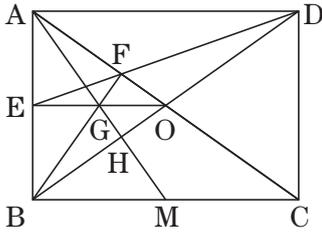
$$\frac{EA}{AB} \cdot \frac{BM}{MC} \cdot \frac{CF}{FE} = 1 \quad \dots\dots ①$$

# 強者の戦略

が成り立つ。ここで、 $AD \parallel BC$  より、 $\frac{EA}{AB} = \frac{FE}{CF}$

なので、①より  $BM = MC$  となり、点  $M$  は  $BC$  の中点である。

[解2] (作図法) 長方形  $ABCD$  の対角線の交点を  $O$  とし、辺  $AB$  上に適当に点  $E$  をとる。  $ED$  と  $AO$  の交点を  $F$ 、  $FB$  と  $EO$  の交点を  $G$  として、直線  $AG$  と辺  $BC$  の交点を  $M$  とする。点  $M$  は辺  $BC$  の中点である。



(証明)  $AM$  と  $BD$  の交点を  $H$  とすると、 $\triangle ABO$  と点  $G$  でチェバの定理、 $\triangle ABO$  と直線  $EF$  でメネラウスの定理より

$$\frac{AE}{EB} \cdot \frac{BH}{HO} \cdot \frac{OF}{FA} = 1, \quad \frac{AE}{EB} \cdot \frac{BD}{DO} \cdot \frac{OF}{FA} = 1$$

$$\therefore \frac{BH}{HO} = \frac{BD}{DO}$$

である。

よって

$$BH : HO = BD : DO = 2 : 1$$

である。

$\triangle ABC$  において、点  $H$  は中線  $BO$  を  $2:1$  に内分する点なので、 $\triangle ABC$  の重心である。

すると、直線  $AM$  も三角形  $ABC$  の中線となり、 $M$  は辺  $BC$  を二等分している。

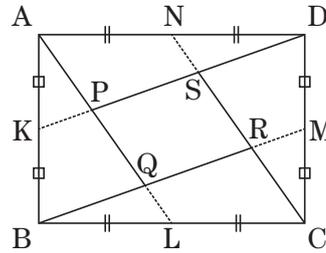
(4点  $B, O, H, D$  を調和点列という。)

これで、長方形の辺の中点を作図することが出来たので、これを利用して長方形の面積を5等分していきます。

**【3】** 定規だけを使って、与えられた長方形の面積を五等分する線分を作図せよ。

《解答》

[解1] 下図のように長方形の各辺の中点をそれぞれ  $K, L, M, N$  とし、線分  $AL, BM, CN, DK$  を引き交点を  $P, Q, R, S$  とする。



すると

$$\begin{aligned} (\square PQRS) &= (\triangle ABQ) = (\triangle BCR) \\ &= (\triangle CDS) = (\triangle DAP) \end{aligned}$$

となるので、面積は五等分されている。

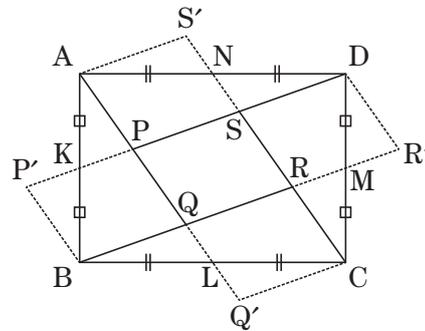
実際、次図のように点  $P$  の点  $K$  に関する対称点  $P'$  等とすると、

$$\triangle KAP \equiv \triangle KBP'$$

$$\square PQRS \equiv \square P'BQP \text{ 等}$$

$$(\square PQRS) = (\triangle ABQ) \text{ 等}$$

が成り立つ。

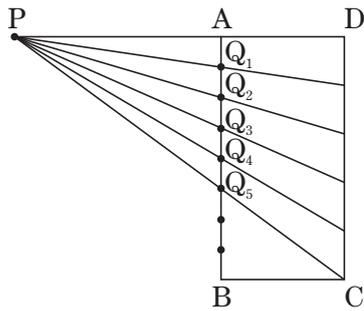


[解2] 前述の線分の中点の作図を辺  $AB$  を繰り返し用いて、辺  $AB$  の8等分点を作図する(次図参照、紙面の関係で長方形  $ABCD$  は縦長にしている)。

8等分点の  $A$  に近い方から順に  $Q_1, Q_2, Q_3, Q_4, Q_5$  として、 $CQ_5$  と直線  $DA$  の交点を  $P$  とする。

直線  $PQ_1, PQ_2, PQ_3, PQ_4, PQ_5$  と辺  $DC$  の交点が、辺  $DC$  の5等分点となっている。

# 強者の戦略



同様に、辺 AB の 5 等分点も作図でき、辺 AB と辺 DC の 5 等分点同士を AD に平行になるように結んでいけば、長方形 ABCD を合同な 5 個の長方形に分割できる。

【4】「ユークリッドのコンパス」だけを使って、次の円を作図せよ。

「平面上の 3 定点 A, B, C について、中心を A とする半径が線分 BC の長さと同じ円」

※「ユークリッドのコンパス」とは、任意に与えられた点を中心として、他の任意に与えられた点を通る円を描くことしかできない。つまり「ユークリッドのコンパス」は「長さを移す」道具ではない。

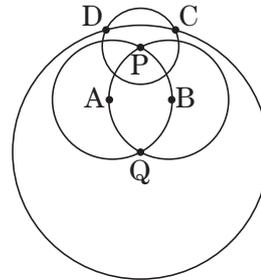
皆さんご存知の「コンパス」なら簡単な問題なのですが、「ユークリッドのコンパス」は「長さを移す」事が出来ません。簡単そうで難しい問題です。

紀元前 3 世紀ごろにエジプトで活躍していたユークリッド (Euclid) によって編纂された「原論」という数学書があります。その中には幾何学に関する幾つかの定義、定理、公準が載っており、作図に関する公準の中に「任意の点を中心とする任意の半径円を描くこと」とあります。この円を作図するための架空の器具を「ユークリッドのコンパス」と呼びます。

《解答》

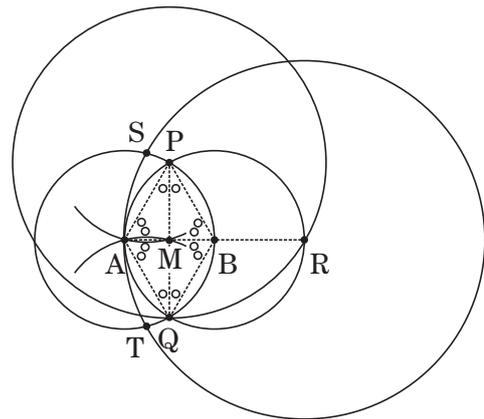
[解 1] 点 A を中心とする点 B を通る円と、点 B を中心とする点 A を通る円を描き、これらの 2 交点を P, Q とする。次に、点 P を中心とする点 C

を通る円と、点 Q を中心とする点 C を通る円を描き、これらの 2 交点のうち、C でない方の交点を D とすると、 $BC = AD$  であることがわかるので、点 A を中心とする半径 AD の円を描けば、これが求める円である。



[解 2] まず、AB の中点および点 A の点 B に関する対称点を作図する。点 A を中心とする点 B を通る円と、点 B を中心とする点 A を通る円を描き、これらの 2 交点を P, Q とする。次に、点 P を中心とする点 Q を通る円と、先ほどの点 B を中心とする円の交点を R とすると、点 R は点 A の点 B に関する対称点であることが簡単にわかる。

更に、点 R を中心とする点 A を通る円と、先ほどの点 A を中心とする円の 2 交点を S, T とする。点 S を中心とする点 A を通る円と、点 T を中心とする点 A を通る円の交点を M とすると、点 M は AB の中点となっている。



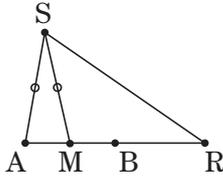
(証明) M が AB の中点であることは、次のように分かる。

$$RS = RA, RA = 2AB$$

なので、 $\angle RSA = \angle RAS = \angle SMA$  である。

# 強者の戦略

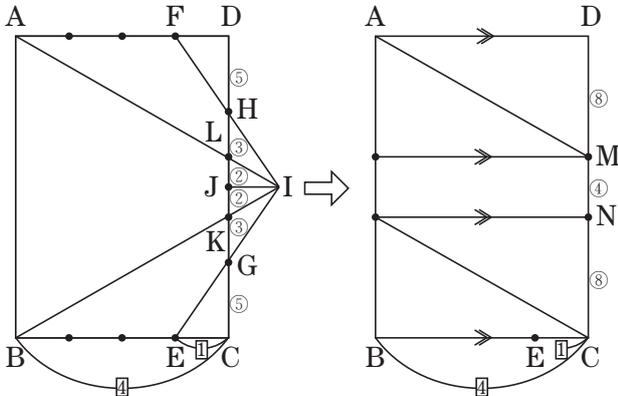
よって、 $\triangle RSA$ の $\triangle SAM$ となり、相似比は2:1である。これと $SA=AB$ ,  $RA=2AB$ を得る。



[番外編]

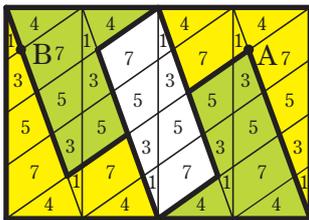
・6月○日, 中3数学灘クラス@JR住吉校

生徒A「中点の作図は分からんけど, 中点を使って面積は5等分はできた!」



直角三角形4つと真ん中の長方形はすべて面積同じ.

生徒B「俺もできた!」



各辺を4等分し, 上図のように, 全体の面積を

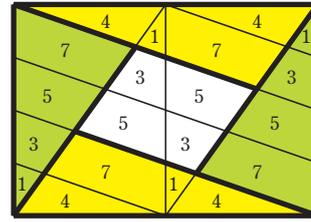
160として,  $\frac{160}{5} = 32$  ずつの部分に分ける.

生徒C「H学園っばい解答!」

一同「ほんまや! H学園っばい! (爆笑)」

生徒B「いやおれM 測出身なんやけど! (笑)」

生徒D「そんなに分けなくても, これでいいじゃん!」



$\frac{80}{5} = 16$  ずつに分ける.

一同「おお! こっちの方が綺麗!」

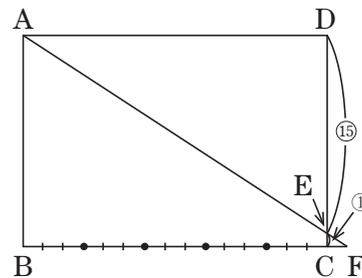
生徒E「てか, 160に分けた図でAとBを結んだらええねん! 下も同じようにして!」

一同「ほんまや!」

・6月△日, 高2特選数学S@京都校

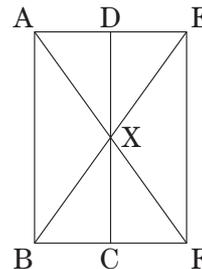
授業中, 前述の中3灘の生徒たちが解いた解答を紹介すると, 2人の生徒がそれぞれ黒板の前で解説してくれました.

高2洛南N君の解法



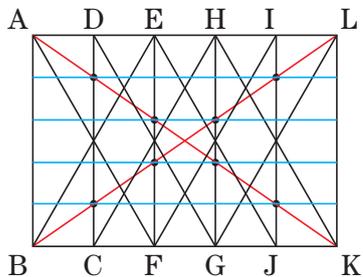
CDを16等分する(2等分をくり返す). AEとBCの交点をFとする. BFを16等分した点をBに近い方から3つおきにとる. 上の辺も同じようにとり, 上下に線分を結ぶ.

高2洛南S君の解法



# 強者の戦略

DCの中点Xを通り、直線BXとADの交点をE、直線AXとBCの交点をFとし、長方形ABCDと合同な長方形DCFEをつくる。



同様にして、上のように長方形ABCDと合同な長方形が全部で5個並んだ大きな長方形を作り、青線4本を引くことで面積を5等分する。

いかがでしたでしょうか。今回は算数を思い出して頂けたでしょうか。未来の強者たちの考えることはすごいですね！今後も、算数、数学の垣根に囚われず様々なことを伝えていきますので、楽しみに！

(数学科 松下)